

春の火災予防運動 活動あれこれ

春の火災予防運動期間（三月一日～七日）を中心に、当消防本部管内でさまざまな活動を行い、火災予防に努めました。

各種防火訓練



アスト津で行われた4消防署合同による大規模地震を想定した防火訓練（2/27）

二月二十七日、津市羽所町のアスト津で中・北・久居・白山4消防署合同の防火訓練を実施し、消防職員や県防災航空隊員、アスト津内の事業所職員約百五十名が参加しました。この訓練は、一月一日に旧津消防と旧久居地区広域消防が合併してから初めての大規模訓練で、新体制での円滑な消防活動を目指して行われたものです。訓練は、東南海地震が発生し、

アスト津五階の調理室から出火、数名が取り残されたとの想定で、事業所職員の一斉避難後救助隊がはしご車二台を使ってビル五階のバルコニーから助けを求めていた人を救出しました。訓練最後には、はしご車からの一斉放水も行われ、会場周辺は本番さながらの緊迫した空気に包まれていました。訓練終了後、野田重門消防長は「本日の訓練を新しい津市の体験として、今後、総合力で市民の皆様の安全・安心を守っていきたい」と講評しました。

三月七日には、久居消防署久居署で三重中央看護学校の一年生八十人を対象に、「二日フアイア体験」を実施しました。参加した生徒たちは二つの班に分かれ、屋内消火栓や消火器の取り扱いを学んだり、訓練塔を使っての煙体験や救助袋降下訓練を体験しました。



高茶屋小森町の松阪鉄工で行われた防火訓練（3/7）

また、夜間の病院で火災が発生したとの想定で避難訓練を行い、病室に見立てた仮眠室から患者役を避難させ、竹竿と毛布を使った応急担架で、重さ六十キロの人形を搬送しました。訓練に参加した生徒からは「このような訓練は初めてだけど経験できて良かった。この体験を今後に活かしたいです」という感想が聞かれました。



応急担架で患者に見立てた人形を運び出す看護学生たち（3/7）



消火器ゲームを楽しむ子どもたち（3/4・イオン津南サンパレー）

三月四日、イオン津南ショッピングセンターで防火キャンペーンを開催し、当日買物に来ていた家族がたくさん訪れ、ゲームや各種の催しを通して火災予防に親しみました。

防火キャンペーン



香良洲町の浜っ子幼稚園で行われた防火訓練（3/8）